

## 生物多様性の活動って何をする？

S R の中核課題「環境」にも、K E S の環境影響評価の項目の中にも**生物多様性**という言葉が出てきますし、実際に活動目標に挙げている組織もあります。

でも、本当に生物多様性に貢献する活動になっているかというと？のものもあります。

- ・地域の希少生物や絶滅危惧種の植物を育て、きれいに花を咲かせました！
- ・会社の庭にある木や花に水をあげて世話をしています。枯れずに元気に育っています。
- ・メダカを飼って増えたら社員の子供やご近所に分けています。
- ・クマを守る活動に参加、近所のドングリを拾って東北の森に撒いています。
- ・花壇に野菜を複数種育て、社員みなで楽しんで食べています。



これらの活動は本当に「生物多様性」への貢献活動なのでしょうか。

きれいな花を咲かせるために虫がつかないようにしています、木などが元気に育つために周りの草（雑草？）を刈り取っています、増えたメダカが近所の小川に放されました、という内容も聞くことがあります……

実は「害虫」という名の虫はいません。「雑草」という名の草もありません。

生物多様性への貢献とは、絶滅危惧種を育てて自生地を増やすとか、葉を食べる虫やミミズ、蝶や蟻、道端や畔に咲く草なども含めた生態系の保護になります。

クマを守る活動も、クマにとっては食べ物が増えるので良い活動に見えますが、これから数十年と餌場になる森は、別の地域のドングリなどが育つことによって元々の森の生態が変化して、クマなども住めない姿になる……かもしれません。

森の姿が変化することで、クマ以外の動植物が生きていけなくなる…かもしれません。何を大事！として考えるかで、正解のない活動とも言えます。いろいろな側面を考えると、かなり難しい活動ですね。

だからと言って花や野菜を育てる活動が悪いわけではありません。

みんなで楽しめる活動として、生物多様性ではなく、コミュニケーション向上のための活動として継続されはいかがでしょうか。

K E S には「生物多様性」を目標に挙げなければならない！という規格はありません。社として可能であれば目標設定してもいいですが、事業継続・売上確保・雇用確保など（品質管理やコミュニケーションも含め）、本来の業務向上に係る活動を優先して目標設定していただければと思います。

